

整理番号

事業名

八丈町東日本大震災被災者受入支援事業

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200字以上~300字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	借受けた国所有住宅物件の入居可能世帯数をもとに、12世帯、概ね30人の受け入れを想定して事業を行い、10世帯31人を受け入れた。人数的には、ほぼ想定どおりの成果といえるが、国所有住宅物件への入居世帯数でみると、その成果が十分であったとはいえない。当初、8月に予定していた福島県説明会が、諸般の事情で2ヶ月遅れの実施とならざるをえず、時機を逸した感があったが、その影響もあったと思われる。	4
2	市民性	事業の市民性については、義援金252千円が町内の団体等から寄せられた点、地区の祭りやイベントへの招待や声かけが頻繁に行われていた点、家庭菜園を希望する世帯と地域住民との交流が、農地の無償貸与や栽培指導をとおして行われていた点をもって、一定水準の成果はあったと思われる。しかし、プライバシーの問題等もあり、「多くの市民が参加する」という評価の着眼点については、限定的な対応となった。	3
3	波及効果	東北地方に姉妹都市・友好都市等を持たない八丈町は、受け入れ対象地域を東日本大震災被災地全域という設定にせざるを得なかったが、当該NPOとの協働により国や被災県・被災市町村の支援が及びにくい地域の被災者に、今回の事業の提供が可能となった。行政の不得手な分野を補完するNPOと、協働関係を構築できたことは、一定の事業成果といえる。	3
4	継続性	評価項目外	
5	マルチステークホルダー・プロセス	①自立をするための就業を支援する。②地域住民との交流、地域との親和を図る。これらの点については、行政単独で事業を行うよりも、NPOとの協働によるほうが、キメの細かい対応ができたものと思われる。しかし、評価項目の「複数団体（5団体以上）で協働」することは、当町のコミュニティ規模からは困難であった。	4

合計点

14

ランク

A